

最後に本研究に御懇篤な御指導を賜わる東京教育大学・伊藤洋教授並びに胞子採集に多くの御便宜を与えられた井上浩氏に深い感謝の意を表する。

Summary

The prothallia of three *Aspleniums* together with the four on which Dr. S. Momose has already published a report, show pretty similarity among them concerning to their total forms, sinus, rhizoids, etc., but they make some variations in regards to the marginal papillae, the neck cells of the archegonia, the basal cells of the antheridia, etc.

Neottopteris antiqua, a Japanese species closely related to *N. nidus*, is quite different from the latter by having many papillae on the margins of the prothallia, on the contrary of the smooth margins of the latter.

○シラベ神奈川県丹澤山集に産す (林 弥 栄) Yasaka HAYASHI: *Abies Veitchii* newly found in Kanagawa Prefecture.

今までシラベが丹沢山集に産するという記録はないようである。私は昨夏8月、一昨年引き続いて丹沢山集の植物を調査して廻つた。その節、東丹沢塔が岳東方海拔大凡1400 m の所でシラベの自生しているのを発見した。附近でこれも丹沢山集では未だ採集記録のないと思われるダケカンバ、ヤハズハンノキ、コバシジノキ、ベニノリウツギなどを採つた。なおシラベは丹沢植物研究者小島俊郎君に、4年前丹沢山頂から高旗山に下る途中で採集したとかいう標本を見せてもらったが、その当時は標高の低い丹沢山集にシラベの自生するというに疑問をもつていたが、やつぱりあることがたしかとなつた。(農林省林業試験場)

○ヤマゼリの生存期間 (水 島 正 美) Masami MIZUSHIMA: Duration of *Ostetricum Sieboldi* Nakai

植物分類地理 14: 31 (1949) に中井源(現在は村田)氏が記されたところでは山城貴船に於けるヤマゼリは1年生であるとう。小生は武州南多摩郡由木(ユキ)村産のヤマゼリを5年程栽培して来たが、毎春同一株が萌発して来るのを見ており、又果実によつて子孫もよく殖える。1955年初秋に最初に植えた親株を掘り起して見たが、午莖根の頭は唯1個で下方に至つて2~3 岐していた。これで毎年1莖しか立たぬ理由も判明したし、実生の仔株達も皆越冬して来たことから見て、少くとも東京近郊のヤマゼリは多年生と言えそうに思う。(資源科学研究所)